

監査人が知っておきたい メンタルケアとハラスメント対策

～ 自分もお相手もお互いに心を大切にする監査活動に向けて ～

日時 2026年11月26日(木) 10:00～17:00 (6H)

参加方法 オンライン参加：ZoomによるLive配信

講師 日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長
公認不正検査士 (CFE) 日本ハッカー協会会員 **戸村 智憲 氏**



お申込ページはこちら

対象 監査役、監事、内部監査部門、内部統制部門、リスク管理部門、総務部門、
コンプライアンス部門、監査委員、監査事務局、監査法人、人事労務部門など

開催にあたって

監査は会社・組織を良くするために行うもの。

しかし、適法性監査の観点からも「ビジネスと人権」やESGの観点からも、メンタルケアやハラスメント対策が必ずしも十分にチェックできていないように見受けられます。

また、心理的負荷の高い監査活動や各職場での業務において、自分の心も相手の心も守りあう取り組みが、カスハラ対策の義務化も含めて社会的に求められています。

そこで、監査人をはじめ各職場の方々を知っておきたいメンタルケアと、心を傷つけるハラスメントの防止に必要な対応について、エッセンスを凝縮してお届けします。

みずから、国連での激務からうつ病・パニック障がい、雇い入れ経験があり、妻のがん手術・がんのショックでのメンタル不調による自宅療養を、夫として育児・家事なども全面的に支援をし、WHO準拠のサイコロジカル・ファーストエイドも修了して支援にあたる講師が、当事者視点・支援者視点の両面から実体験を通じてソフトにお話し致します。

学習指標

- ◎ 監査人自身のメンタルケアと横柄な監査でのパワハラ等の防止
- ◎ 職場・社会で心を大切に寄り添う監査活動に向けた知見の習得
- ◎ 出物腫物を触る対応から寄り添える支援者になるための素地づくり

■参加料 (1名様) ※テキスト・資料代などを含みます。

- ◇ 日本経営協会会員 (1名) : 34,100円 (税込)
- ◇ 一般 (1名) : 41,800円 (税込)

■キャンセルについて

会場参加 : 開催日の3営業日前～前日のキャンセルは参加料の30%、開催当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%を申し受けます。

オンライン参加 : 開催日の5営業日前～当日のキャンセル・ご欠席は参加料の100%をキャンセル料として申し受けます。

■オンライン参加について

- ・セミナーの録音、録画、映像のスクリーンショット等は固くお断りしております。また、自ら又は第三者を通じて、セミナー動画およびテキスト・資料の転載、複製、出版、放送、公衆送信その他著作権、知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。
- ・本セミナーにお申込み登録をいただいていない方のご受講は固くお断りしております。

■その他

参加者が少数の場合、天災、その他の不可抗力の場合などにおいては、中止・延期させていただく場合があります。

■受講お申込み方法

★2026年度からのNOMAセミナー申込が変わります！
※研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入！

★セミナー申込までの流れ

- 1 本会HP (noma.or.jp/)、またはmanaableのNOMA専用サイト (noma.manaable.com/) にアクセス
- 2 ご希望のセミナーを検索
- 3 manaableから「セミナー申込」
※初回の方は「ご担当者登録」「企業・団体登録」の後にお申込みの流れとなります。
- 4 お申込み後、manaableサイト内で申込状況等の確認が可能
※本会にて申込内容を確認 (通常、0～2営業日内) 後、ステータスが「承認」となりご受講確定となります。
※ZoomURL等、受講に必要な情報もmanaable上でご確認いただけます。
※受付確認メール、参加券、また請求書の紙面発行はなくなりました。
※請求書は、manaableサイト内からPDFダウンロードいただけます。

1. 監査人・職場・社会に大切なメンタルケア

- 「性暴力」や各種ハラスメントでの心の傷とケア
- 「ビジネスと人権」やESGの観点で問われる対応
- 監査は帳簿・数字ではなく人や人との関係を「診る」
- メンタルヘルスの安全配慮義務・適法性監査の観点
- 厚労省の指針に基づく職場で求められる対応って？
- メンタル不調と法令に沿った「合理的配慮」
- 誰でもなり得るメンタル不調とストレスの問題
- 講師の当事者体験：国連での激務でのうつ病罹患
- 講師の支援者体験：妻のがん・メンタル不調支援
- 「自殺」を考えた時の誤解の多い実際のお話し
- ストレスチェックだけではつかみきれない心の問題
- キーワードは「早く受診」「服薬継続」「焦らない」
- 主にどんなメンタル不調があるの？
 - ①うつ病 ②適応障害 ③統合失調症 など
- メンタル不調の回復にはどんな治療があるの？
 - ①薬物療法 ②森田療法などの精神療法 など
- セルフケア・周りからのケアで心を守りあう「護心術」
 - ①認知の歪みを知る
 - ②傾聴と共感
 - ③苦しい人に望まれるスムーズな「声かけ」
 - ④スムーズな伝え方への「アサーティブ」な工夫
 - ⑤睡眠が支える心のレジリエンス
 - ⑥同じ姿勢・目線で伝える共感
 - ⑦介入は最小限に主体的に回復へと導く
 - ⑧赤ちゃんに「とんとん」するような心の手当て
 - ⑨お互いに避けるべき「共依存」を知っておく
 - ⑩つい出がちな差別/偏見の
 - 「マイクロ・アグレッション」など
- 「おうち入院カルテ」での「ココロの処方箋」
- 「職場の心理的安全性」が企業の力を左右する

- 職場に「心の安全基地」をつくるには？
- 休職中や復職へ向けての職場や家族の役割
- 「治る」って？：完治と寛解について
- 問題に直面しても崩れない心を取り戻す
- 「心に寄り添う監査」で監査人ができること など

2. 監査人・職場・社会に必須のハラスメント対応

- セクハラ・パワハラ・カスハラなどの負の影響
- 「口が滑って大炎上」：解任・株価下落・不買等
- 法令で見る各種ハラスメントの問題点
- 「性暴力」と断じられる経営問題・進退問題
- セクハラ類型2パターン
- 女性から男性へのセクハラなどの問題
- 監査人が横柄な監査態度でパワハラ化も…
- 厚労省のパワハラ類型6パターン
- 部下から上司に対するパワハラなどの問題
- お互いの人権を守りあうカスハラ対策
- カスハラ対策で関わる様々な法令と対応策
- カスハラ対策チェックリストのご提供
- ネット上・電話・職場外でも起こる違法行為
- 海外往査で気を付けたい文化差と高額賠償金
- ハラスメント被害での心の傷へのメンタルケア
- 「ビジネスと人権」のグリーンバンス・メカニズム対応
- ハラスメント対策に監査人がどう貢献するか？
 - など

3. 質疑応答

- 本セミナーの内容以外でも、監査関連でお悩みのことがあれば、無理のない厚意の範囲で適宜対応致します。

※各記載項目等は、最新動向・社会状況・最新の研究成果等を基に、より良いものをお届けする等のため、事前の予告なく内容や構成等の改訂・修正・変更等を行う可能性がございます。予め悪しからずご了承下さいませ。

講師プロフィール

早大卒。米国MBA修了時に学業評価/人物審査で学長推薦にて全米トップ0.5%のみに授与される全米優秀大学院生を受賞。米国Ph.D博士後期課程中退。

国連勤務にて、国連内部監査業務の専門官、国連戦略立案専門官リーダー、ESG・「ビジネスと人権」関連の普及啓発・広報業務などを担当。退官後、学術では、経営行動科学学会理事や岡山大学大学院非常勤講師など、経営ではJ A長野中央会の顧問、上場IT企業JFEシステムズのアドバイザー、IT商社(株)アシストの顧問や、業界団体の会長・役員などを歴任。テロ対策指導で警察本部より感謝状受領。

元・Google社長との国際会議場でのAI特別対談や、世界初でのリスク管理指標「KRI」「KCI」や東日本大震災前から世界初でクラウドの災害対策活用モデル「危機管理型クラウド」の開発・学会発表・普及啓発にも尽力。弁護士・公認会計士・医師・看護師などプロの専門家/士業を指導するプロとしても活動。

著書34冊。代表作に『企業統治の退廃と甦生』（中央経済社）など。NHK「クローズアップ現代」TV出演や、日テレ曜ドラマ「ブラッシュアップライフ」に主演の安藤サクラさんとセスナの教官役でのドラマ共演・航空監修など、TV・ラジオ・寄稿連載など多数。

日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 ともら ともりの
公認不正検査士（CFE）日本ハッカー協会会員 戸村 智慧 氏



メールマガジンのご登録



新規講座や申込を開始したセミナーを定期的にご案内しております。ご興味のある方はぜひご登録をお願いいたします。

[登録はこちら⇒](#)



メールマガジン登録用QR

★研修管理システム「manaable(マナブル)」を導入！

お申込みや事務処理の迅速化、ペーパーレス化を目的として、お客様自身で管理できる研修管理システム(マナブル)を導入いたしました。

[詳細はこちら⇒](#)

